



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・情報の信頼性の確かめ方を理解し、使うことができる。
- ・自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考え、構成を工夫することができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・必要な情報を収集し、根拠を明確にして自分の考えを整理し、表現することができる。

単元における学習の展開（全2時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	○課題設定（☆）（本時） ・本の文章を引用する際の参考文献の書き方について、例示をもとに理解する。 ・単元課題「生成 AI はどういう場面で使えるか」の確認を行う。 ・図書資料を使って、課題に対する情報を収集し、ワークシートを用いて、生成 AI の特徴について分析する。 ・生成 AI が使える場面や使えない場面を明確にして、根拠をもとに自分の意見としてまとめ、表現する準備を行う。
第2次 (1時間)	○まとめ（☆） ・個々が収集した情報を班で共有し、引用元を明確にして情報を整理する。 ・収集した情報をもとに、相手を説得できるように論理の展開を考えて、話の構成を工夫する。 ・班ごとの発表を聞いて、生成 AI が使える・使えない場面について自分の意見をまとめ、実生活に生かしていく。

本時のねらい

- ・書籍に記載されている根拠をもとに、生成 AI についての特徴を整理・分析する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント)
導入 (10分)	1. 課題設定 ・生成 AI について知っている内容を伝え合う。 ・書籍を使って調べることの目的や参考文献からの引用方法について知る。	●指導上の留意点等 ★参考文献の書き方を説明し、引用が必要であることを理解する。 ●参考文献の書き方を説明し、引用が必要であることを確認する。
展開 (35分)	2. 単元課題に取り組む。 ・生成 AI に関する書籍を選ぶ。 ・生成 AI のメリット・デメリットを図書資料から収集する。 ・収集した情報をもとに、ワークシートを用いて、班員と意見交流を行う。	●課題別に図書教材を分類しておく。 ★一人一人の教材が異なることで、情報収集する観点の違いに気づき、自らの学びに生かそうとする。
まとめ (5分)	3. まとめ・ふりかえり ・次回の発表について説明する。 ・次時の自分のまとめた意見について、発表するための流れを説明する。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・図書資料を活用するに際し、引用部分については、参考文献の記入方法等、著作権に関する学習について取り組む必要がある。
- ・学校図書館司書と事前に相談し、授業計画を共有のうえ、生成 AI に関する資料を集めておく。
- ・学校図書館だけでなく、市立図書館とも連携し豊富な図書資料を確保した。
- ・選書については、生徒の課題に合わせて、幅広い資料を準備することで、情報収集がスムーズに進むよう工夫した。
- ・調べ学習の段階において、個人で調べる時間と、班で交流しながら調べる時間の区別を取り入れた。

(生徒のふりかえり)

- ・本を読んで情報を探るのが楽しかった。
- ・生成 AI に向き合う時間は今までなかったので、深く知ることができてうれしかった。
- ・本から引用するときに、短く伝わりやすいものとなるよう工夫が必要である。
- ・本から文章を引用するときに、本の名前や作者などを書かなければならないルールがあることがわかった。
- ・班のメンバーと交流したことで、生成 AI についても本によって、意見が違ってくるのがわかった。



図書資料から情報を収集し、ワークシートに記述している様子